第 20 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会
実施要項

2023 年 2 月 22 日現在

1. 大会の趣旨

　団員にスポーツの歓びを経験する機会とより伸びるための研修の場を与え、バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する。

2. 主催

公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団、公益財団法人日本バレーボール協会
日本小学生バレーボール連盟、公益財団法人静岡県スポーツ協会静岡県スポーツ少年団

3. 後援

スポーツ庁、静岡県、掛川市、袋井市、静岡県教育委員会、掛川市教育委員会、袋井市教育委員会

4. 協賛

株式会社ミカサ

5. 支援

独立行政法人日本スポーツ振興センター

6. 協力

一般社団法人静岡県バレーボール協会、静岡県小学生バレーボール連盟
公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団
公益財団法人スポーツ安全協会

7. 主管

第 20 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会静岡県実行委員会

8. 期日

(1)　女子　令和 5 年 3 月 24 日(金)～3 月 27 日(月)
(2)　男子　令和 5 年 3 月 24 日(金)～3 月 26 日(日)

9. 会場

【開・閉会式】エコパアリーナ(静岡アリーナ)　　静岡県袋井市愛野 2300-1
【試合会場】エコパアリーナ、エコパサブアリーナ　静岡県袋井市愛野 2300-1
　　東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」　静岡県掛川市大池 2250

10. 開会式

~~令和 5 年 3 月 24 日(金)15 時よりエコパアリーナ(静岡アリーナ)で行う。~~
~~参加者の服装は、原則として競技時の服装(トレーニングウェアでも可)とする~~
※2022/12/26 時点　新型コロナウイルスの感染拡大状況により、今後変更となる可能性があります
※2023/2/22 追記　実施いたしません。

11. 大会日程

〔第 1 日目〕3 月 24 日(金)　~~開会式、~~指導者会議　~~、交歓交流・指導者講習会~~
　　※2023/2/22 追記　内容を一部変更し、「指導者会議」のみ実施いたします。
〔第 2 日目〕3 月 25 日(土)　男子リーグ戦 1 日目、女子リーグ戦 1 日目
〔第 3 日目〕3 月 26 日(日)　男子リーグ戦 2 日目、女子リーグ戦 2 日目(ブロック別)
　　※男子表彰式は競技終了後コート上で行います
〔第 4 日目〕3 月 27 日(月)　女子決勝トーナメント(ブロック別)
　　※女子表彰式は競技終了後コート上で行います

12. 参加チーム数および人数とその選出

(1) 女子 48 チーム(1 チーム 15 名以内)　計 720 名
男子 10 チーム(1 チーム 15 名以内)　計 150 名

(2) 女子の参加チームは各都道府県 1 チームの計 47 チームと開催県より 1 チームの合計 48 チームとする。ただし、不参加県があった場合、前年度バレーボール登録女子団員数の順位により追加県の参加を認める。なお、この場合、同一市区町村より 2 チーム参加することは認めない。

(3) 男子の参加チームは、全国 9 ブロック(北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州)より代表 1 チームと開催都道府県代表 1 チームの合計 10 チームとする。

(4) 参加チームの選出方法は、各都道府県内において協議し決定すること。
男子については各ブロックにおいて協議し決定すること。

13. チーム編成

(1) 指導者は、監督、コーチの計 2 名とする。なお、指導者は、2 チームを兼任することはできない。
また、やむを得ない事情により、指導者の 1 名が参加できない場合、原則として、参加できるもう 1 名が「14. 参加資格(1)指導者(監督・コーチ)」を全て満たしており、かつ、主催者が認めた場合に限り、当該チームの参加を認める。

(2) 団員(選手)は、計 12 名までとする。

(3) マネージャーは 1 名とする。なお、やむを得ない事情により、指導者の 1 名が参加できない場合、チームの安全・管理の観点から、マネージャーは「14. 参加資格(3)マネージャー」を満たす 20 歳以上の者であることが望ましい。

(4) 指導者(監督・コーチ)、団員(選手)およびマネージャーについては同一の単位団所属であること。

(5) 大会期間中における指導者(監督・コーチ)及びマネージャーの交代については、特別な事情があり、かつ、主催者が認めた場合に限り可能とする。

14. 参加資格

(1) 指導者(監督・コーチ)

① 令和 4 年度、日本スポーツ少年団に「指導者」として登録しており、集団指導の能力に優れ、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。

② 指導者(監督・コーチ)のうち 1 名は、令和 4 年度日本スポーツ少年団登録時に公益財団法人日本スポーツ協会公認バレーボールコーチ 1～4 又はスタートコーチ(バレーボール)いずれかの資格を保有する者、若しくは日本小学生バレーボール連盟認定指導者(一次、二次講習会受講修了者 ※一次のみでも可)であること。なお、試合時にはそれらを証明する証明書等を所持すること。

(2) 団員(選手)
下記の条件を満たす者で、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する団員。

① 令和 4 年度、日本スポーツ少年団に「団員」として登録しており、令和 4 年 4 月 1 日現在、小学 3 年生以上 6 年生以下の者。

② 集団生活に際し、規則正しい行動のとれる者。

③ 保護者に大会参加の承諾を得た上、通学校長に大会参加の届出を行った者。

(3) マネージャー
令和 4 年度日本スポーツ少年団に「指導者」「役員」「スタッフ」または「団員」として登録しており、所属都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者。

(4) その他(審判員)
リーグ戦の副審は相互審判にて行うため、参加チームは監督・コーチ・マネージャーの中から審判員を 1 名選出すること。
なお、相互審判に当たる者は「公認審判員」の資格を有するものが望ましいが、チーム内に資格保有者がいない場合は、指導者資格取得の際、審判についての講義を受講しているか、地区大会等で審判の経験のある者とする。

15. 競技規則
公益財団法人日本バレーボール協会の定める 2022 年度版 6 人制競技規則及び競技要項に準ずる。

ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。また、別に示す「第 20 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会 競技方法および競技規則等確認事項」を遵守する。

16. 使用球

公益財団法人日本バレーボール協会が公認する小学生バレーボール 4 号検定球(ミカサ V400W-L)

17. 競技服装

(1) 団員(選手)の背番号は 1～99 までとするが、1～12 までが望ましい。また、色等の異なる2種類以上のユニフォームを用意すること。また、ユニフォームには、必ず団員章(原則として左肩)をつけること。

(2) 指導者及びマネージャーの服装は統一されたものとし、短パン・Tシャツは不可とする。
ただし、団員がマネージャーの場合はこの限りではない。

(3) 指導者は、日本スポーツ少年団指導者章(原則として左肩)をつけること。
また、監督・コーチならびにマネージャー章は、各チームで用意し左胸につけること。

18. 競技方法

試合はすべて 3 セットマッチとして、3 位決定戦は行わない。なお、リーグ戦の副審は相互審判にて行う。

＜女子＞

(1) 各都道府県 47 チームに開催県の 1 チームを加えた 48 チームにて、リーグ戦形式・ トーナメント形式にて実施する。

(2) 競技 1 日目は以下のとおり実施する。

① 各組 3 チーム、計 16 組のリーグ戦を行う。
各組の組合せは、47 都道府県を 9 つの地域※1 に分け、同じ組で同地域の都道府県が対戦しないこととする。
※1 北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州

(3) 競技 2 日目は以下のとおり実施する。

① 各組 3 チーム、計 16 組のリーグ戦を行う。

② 各組の組合せは、競技 1 日目と異なる組合せとし、競技 1 日目の各組の 1 位チームとそれぞれ別の組の 2 位チーム、3 位チームが対戦する。

③ 競技 3 日目の実施方法に合わせ、競技 2 日目の計 16 組を 4 組ずつ A～D のブロック※2 に分ける。
※2 A:1～4 組、B:5～8 組、C:9～12 組、D:13～16 組

④ 競技 2 日目の各組の 1 位チームが、上記③で示した競技 3 日目の A～D のブロック別の決勝トーナメントに進出する。

(4) 競技 3 日目は以下のとおり実施する。

① 競技 2 日目の各組 1 位チームによる A～D のブロック別の決勝トーナメントを行う。

② ブロック別の決勝トーナメントは、準決勝 2 試合及び決勝 1 試合のみ行う。

③ 各ブロックの 1 位チーム同士による順位決定戦は行わず、各ブロックの 1 位(計 4 チーム)を優勝とし 3 位決定戦は行わない。

(5) リーグ戦は、8 コートで行い、2 組で 1 コートを使用する。

＜男子＞

(1) 各ブロック代表 9 チームに、開催県の 1 チームを加えた 10 チームを 2 組に分け、各組 5 チームによるリーグ戦を行う。

(2) 競技 1 日目は、各組 6 試合目までを行い、2 日目に各組残りの 4 試合を行う。

(3) 各組の 1 位チーム同士による順位決定戦は行わず、各組の 1 位(計 2 チーム)を優勝とし 3 位決定戦は行わない。

(4) リーグ戦は、2 コートで行い、各組それぞれ 1 コートを使用する。

19. 組合せ

男子リーグ戦および女子リーグ戦(1日目・2日目)の組合せについては、大会実行委員会が責任抽選を行い、各都道府県当該チームに通知する。

20. 表彰

(1) 女子の各ブロック1位(4チーム)、男子の各組1位(2チーム)には、優勝杯、賞状、メダルを授与する。
(2) 女子の各ブロック2位(4チーム)、男子の各組2位(2チーム)には、賞状、楯を授与する。
(3) 参加者全員に参加賞を授与する。

21. 参加者の宿泊及び食事

指導者(監督・コーチ)、団員(選手)、マネージャーは、大会期間中、主催者の指定する宿舎に宿泊する。
なお、以下の経費については、日本スポーツ少年団が負担する。

＜女子＞
宿泊:3泊分(3月24日、25日、26日)
食事:第1日目夕食～第4日目朝食まで(ただし、決勝トーナメントに進んだチームは第4日目昼食まで)
※第4日目の朝食後に解散(決勝トーナメントに進んだチームは第4日目の表彰式終了後に解散)

＜男子＞
宿泊:2泊分(3月24日、25日)
食事:第1日目夕食～第3日目昼食まで
※第3日目の表彰式終了後に解散

22. 宿舎

大会期間中は、参加者全員が大会主催者の手配した宿舎に宿泊する。(〔別表〕参照)

23. 参加申込

＜単位スポーツ少年団→都道府県スポーツ少年団＞
所定の申込書により都道府県スポーツ少年団に申し込むこと
※詳細については所属市区町村・都道府県スポーツ少年団に確認すること

＜都道府県スポーツ少年団→日本スポーツ少年団＞
申込方法の詳細については令和4年年12月上旬を目途に別途連絡いたします
※日本スポーツ少年団への申込期限は令和5年1月10日(火)となりますので予めご承知おきください

24. 携行品

＜個人携行品＞
(1) バレーボール用具一式
(2) 大会期間中の生活用品等
(3) 常備薬、健康保険証(原本)
~~(4) 交歓用記念品〔指導者、団員は1人1個、各都道府県で統一した民芸品等(500円程度)を用意すること〕~~
※2022/12/26時点　新型コロナウイルスの感染拡大状況により、今後変更となる可能性があります。
※2023/2/22追記　第1日目〔3/24(金)〕内容の一部変更に伴い、(4)交歓用記念品の用意は不要となりました。

25. 傷害保険

大会期間中(前後の各移動日を含む)公益財団法人日本スポーツ協会は、開催基準要項に基づき、参加者全員を被保険者とした傷害保険に加入する。

(1) 支払われる保険金
① 死亡保険金　200万円
② 後遺障害保険金　後遺障害の程度に応じて6万円～200万円
③ 入院保険金　日額　3,000円(180日限度)
④ 通院保険金　日額　2,000円(90日限度)

(2) 保険金の支払いについては、事故による傷害が対象となり疾病は対象とならない。
事故による傷害の場合、その治療費は被保険者本人が治療完了まで支払い、その後本人が所定の保険金請求手続きを行うことにより保険金が支払われる。
なお、その他保険金支払いにかかる詳細については、傷害保険普通保険約款および国内旅行保険金特約条項による。

26. 個人情報及び肖像権の取扱

(1) 当協会は、大会開催にあたり、以下の目的のために個人情報を取得する。

- 大会の申込み手続き及び参加資格審査
- 大会運営上必要なプログラム編成及び作成
- 大会時のアナウンス
- 大会結果掲載にかかわること(表彰、掲示板、ホームページ、大会記録集、報道等)
- 大会運営に必要な連絡
- 大会関係機関・団体又は当協会に認められた企業からの情報提供

(2) 当協会は、個人情報を以下のとおり共同利用する。

共同して利用される個人情報の項目	・ 参加申込書に記載されている情報 ・ 大会中に取得した情報(大会結果、大会中に撮影した写真及び映像)
共同して利用する者の範囲	●主催・主管団体 ・ 公益財団法人日本スポーツ協会日本スポーツ少年団 ・ 公益財団法人日本バレーボール協会 ・ 公益財団法人静岡県スポーツ協会静岡県スポーツ少年団 ・ 一般社団法人静岡県バレーボール協会 ・ 第 20 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会静岡県実行委員会 ●参加者が申込手続きを行う団体・関係者 ・ 当該都道府県スポーツ少年団 ・ チーム代表者 ※ 当該参加者が申込手続きを行う都道府県スポーツ少年団やチーム代表者以外には提供されない
共同して利用する者の利用目的	●主催・主管団体 上記(1)に記載の内容 ●参加者が申込手続きを行う団体・関係者 大会の申込手続き及び参加資格審査
個人情報の管理責任者	公益財団法人日本スポーツ協会 会長 伊藤 雅俊 東京都新宿区霞ヶ丘町 4 番 2 号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 11 階

(3) 大会結果(記録)は、参加申込書に記載されている情報(氏名、所属スポーツ少年団)とともに主催者及び主管団体を通じた公開、大会関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載、次回以降の大会プログラムへの掲載等で公表することがある。

(4) 大会関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真、映像が新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ、インターネット等によって掲載されることがある。

(5) 当協会に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真が大会参加チーム・関係者を対象に販売されることがある。

(6) 当協会は、本人またはその代理人から、保有する個人情報について、開示訂正、追加、削除、利用停止、消去の請求があった場合、法令に則って、所定の手続に従い、誠意をもって対応する。また、本人から利用目的の通知を求められたときは、本人に対し、法令に則って、所定の手続に従い、遅滞なく通知する。これらの請求については、公益財団法人日本スポーツ協会ブランド戦略部(link@japan-sports.or.jp)まで連絡すること。

(7) 当協会の個人情報保護方針は以下 URL から確認すること。
http://www.japan-sports.or.jp/privacypolicy/tabid/102/Default.aspx

27. 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 本事業は、政府の方針、開催自治体の方針や日本スポーツ協会策定の「日本スポーツ少年団各種事業等における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針」(最新版)を基に、大会運営に必要な対策を十分に講じた上で開催することとする。

(2) 参加者及び大会関係者は、別に定める新型コロナウイルス感染防止対策を遵守し、各自感染予防に努めること。なお、大会遵守事項及び所定の感染予防対策について、複数回の警告を受けたり、故意に違反する行為を行ったチームは、原則棄権とみなす。

(3) 今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、本大会に参加するチームに対して追加の対応〔1 チーム当たりの観客(保護者等)の上限数設定、団員・指導者・保護者等全員を対象とした抗原検査または PCR 検査の実施(自己負担)など〕を依頼する場合がある。詳細については、令和 5 年 1 月上旬を目途に、別途日本スポーツ少年団から都道府県スポーツ少年団を通じて連絡する。

28. キャンセル料の取扱

(1) 参加者(個人)が負担する費用に関するキャンセル料について、主催者はその責任を負わない。

(2) 「大会開催に際し、主催者が負担する費用(宿泊費、食事代等)」のキャンセル料については、以下のとおりとする。

① 主催者の事情または天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止もしくは官公庁の指示等の主催者が管理できない事由により大会内容の一部変更または中止となった場合
→当該キャンセル料は、主催者が負担する。

② 大会参加申込後、参加者(個人)の事情により参加を辞退した場合
→当該キャンセル料は、原則として推薦都道府県または参加者(個人)が負担する。

③ 大会参加のための移動中および大会開催期間中・大会プログラム活動中における怪我や病気等で、その後の大会に参加できなくなった場合
→当該キャンセル料は、大会実行委員会が認めた場合を除き、推薦都道府県又は参加者(個人)が負担する。大会実行委員会が認めた場合は主催者が負担する。

(3) 上記②または③のキャンセル料は、推薦都道府県から開催都道府県の口座に振り込むものとする。キャンセル料の詳細については、開催都道府県から推薦都道府県に別途連絡する。

29. その他

(1) チームエントリー団員(選手)以外の宿泊については、チーム側で独自に手配すること。

(2) 団員(選手)の健康については、指導者及び保護者が充分に注意を払い出場させること。

(3) 新型コロナウイルス感染症の状況変化等により、本実施要項の内容に変更が生じる場合がある。

30. 問合せ先

第 20 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会静岡県実行委員会
〒422-8004 静岡県静岡市駿河区国吉田 5-1-1
公益財団法人静岡県スポーツ協会 静岡県スポーツ少年団 宛
TEL:054-265-6464 E メール: jssa-volley2022@shizuokaken-sports.com

スポーツ振興基金助成事業

本大会は、スポーツ振興基金助成活動の一環として実施しており、このスポーツ振興基金の助成金は、政府からの出資金とスポーツ振興基金支援企業グループからの寄付金を財源とし、その運用益により助成金が支払われます。

～スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン～

暴力 0（ゼロ） 心でつなぐスポーツの絆

〔別表〕

【女子チーム】

ホテル名	〒	住所
掛川グランドホテル	436-0028	掛川市亀の甲 1-3-1
パレスホテル掛川	436-0028	掛川市亀の甲 2-8-5
くれたけイン・掛川	436-0077	掛川市駅前 10―2
ホテルルートイン掛川インター	436-0020	掛川市矢崎町 3-24
滝本旅館	436-0342	掛川市上西郷 5174-1
落合荘(※2023 年 2 月 22 日追加)	436-0341	掛川市倉真 5795
くれたけイン菊川インター	439-0031	菊川市加茂 1989-1
ホテルルートイン菊川インター	439-0031	菊川市加茂 5638-1
ビジネスホテルたちばな(※2023 年 2 月 22 日追加)	439-0006	菊川市堀之内 277-5
ホテルルートイン島田吉田インター	427-0104	島田市井口 1194
くれたけインプレミアム袋井駅前	437-0023	袋井市高尾 1129-1
ホテルルートイン磐田インター	438-0086	磐田市見付 1845-1
いわたパークホテル(※2023 年 2 月 22 日追加)	438-0078	磐田市中泉 350-1
丸源旅館	437-1202	磐田市豊浜 4581
ホテルルートイン御前崎	437-1612	御前崎市池新田 2525-1
くれたけイン御前崎	437-1612	御前崎市池新田 7644
ロッジングハウスいそかぜ	437-1604	御前崎市佐倉 4562-1
ホテルルートイン浜松ディーラー通り	435-0042	浜松市東区篠ケ瀬町 1220-1
ホテル明治屋	430-0807	浜松市中区佐藤 1-1-30
森の家(※2023 年 2 月 22 日追加)	434-0016	浜松市浜北区根堅 2450-1
ビラックス高薗	434-0023	浜松市浜北区高薗 381

【男子チーム】

ホテル名	〒	住所
つま恋リゾート　彩の郷　ｻｳｽｳｨﾝｸﾞ	436- 0011	掛川市満水 2000